

〈北陸支部〉
地域住民の生涯教育に新たな展開
社会に開かれた孔子学院

——北陸大学孔子学院の取組——

孔子学院と北陸大学

石川県金沢市にある私立大学の北陸大学は今春、中国政府が世界各国の大学等との共同設立を進めている教育文化施設「孔子学院」を日本で三番目、世界で四〇番目に開設した。

孔子学院とは、中国語と中国文化の普及を通じて、世界各国と中国との相互理解と友好関係を促進する中国の国家プロジェクトであり、中国政府は北京に孔子学院本部を開設して、将来的には世界一〇〇校の大学などと共同で各国に孔子学院を設置する計画を進めている。急激な経済成長によって世界における中国の位置づけが大きく変わろうとする中、平和と友好を基調とする外交をアピールし、行き過ぎた経済至上主義を制御する基軸として、孔子の豊かな精神性を据えたものである。

それらの実績の上に、中国に関心を寄せる人すべてに中国語及び中国語文化を学ぶ場を提供する、社会に開かれた孔子学院を設立したということで、地域でも熱い注目を浴びている。

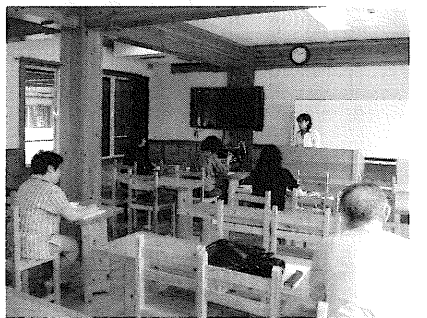
地域とともに歩む孔子学院

北陸地方は、日本海に面していることから、中国との人物・経済交流が盛んな地であり、これから中国語ができる人の需要はますます増えてくると考えられる。日本海側初の孔子学院設立で地域のニーズに応えることを目指している。

今年五月から始まった講座の受講生は、中国語の学習を切実に必要としている五〇歳代の社会人が大部分とのこと。仕事上必要としていたとか、中国に旅行してその魅力にとりつかれたとか、動機がはっきりしているという。

現在の講座は、中国語が主で、入門から上級まで一二クラスが開講されている。九〇分授業で、昼間のクラスも夜のクラスもあるが、夜のほうが社会人を中心に受講生が多く、昼間のクラスには比較的時間に余裕のある人が多いそうである。注目されるのは最上級のクラスとして「中国語同時通訳」講座があることで、最前線で活躍する同時通訳者を目標して一〇名もの受講生が熱心に学んでいるとのこと。

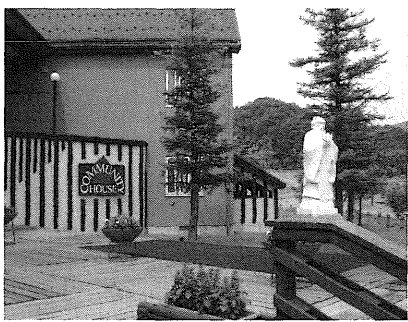
北陸大学は、以前から中国との文化交流に熱心に取り組んできた実績があり、中国からの留学生の受け入れや、学生を中国での研修に派遣する「平成遣中使」の実施など、若い世代間の交流を進めてきている。留学生別科では、中国現地で入学試験を行って、日本の大学、大学院等に入学する中国入学生のための準備教育を行っている。



昼間の「楽しい中国語会話」

中国の大学との交流も積極的に進められ、北京語言大学、南京大学、蘇州大学等二〇校と提携して、学部編入学によるダブル・ディグリー制や学部卒業生を修士課程に進学させる共同教育プログラムを実施している。

また、地域住民の生涯教育にも力を入れ、「北陸大学オープン大学」を開設して、中国語・中国文化関係では、「はじめの中国語」、「使える中国語」、「隣国は今」、「アジア学」、「漢方・薬膳で防ぐ生活習慣病」、「海外研修く中国漢方薬膳の旅」等、多彩な講座を地域に提供してきた。



孔子像の立つコミュニティ・ハウス入口

とである。そのほか、薬学部を有する北陸大学の特色ある講座として「中国医学」が開講されており、健康に関心のある女性層を中心に多くの受講生を集めて、人気の高い講座となっている。

講座は、孔子学院が置かれているコミュニティ・ハウスという、木の温もりを生かした施設の教室を使って行われている。このコミュニティ・ハウスにはレストランもあって、孔子学院が開設されてからはメニューに飲茶セットも登場している。地域住民が溶け込みやすい、こじんまりした、温かみのある施設である。

キャンパス内での講座のほか、北陸大学孔子学院は石川県内の高校での中国語授業を請け負っている。特色ある授業科目の一つとして中国語を取り入れている高校が増えてきているので、この取組も広げていきたいとのこと。今後は企業や公民館、町内会等への出張講座も実現させたいと、地域への拡大に意欲を示す。これからの発展が期待される。